

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標 やさしい子 考える子 丈夫な子</p>	志木市立志木第三小学校
		平成28年度 No.2
		平成28年5月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048-471-1062
		児童数5月1日現在 577名



「運動会は 春派ですか 秋派ですか?！」

校長 可知 良之

今月の28日には、本校42回目の運動会を行います。晴天であることを願いつつ、ゴールデンウィーク明けには本格的な練習が始まります。運動会といえば、どのような思い出があるのでしょうか。私にとっての運動会の思い出といえば、「酸っぱいみかんの香り」と「美味しかった栗ご飯のお弁当」です。食べ物ばかりで恐縮ですが、見に来てくれた母親の思い出とともに、秋を感じさせるのが運動会です。そういえば、かつて運動会のことを秋季大運動会と呼んでいた時期もありました。私がまだ教員になりたての頃（昭和50年代）には、確か春にも運動会がありました。秋の大運動会と区別して、春の小運動会と言っていました。年に2度も運動会があり、子どもたちはかなり喜んでいて覚えています。土曜日が休日になり始めた頃から行事を精選することが必要となり、やがて春の小運動会は姿を消してしまいました。今ではどこの学校でも、“運動会は年一回”が定番になっています。

春開催の運動会と秋開催の運動会、一体どちらが良いのでしょうか？

難しいところです。似たような気候ですのでどちらも運動に適していますし、練習として取れる期間もほぼ一緒です。ただ、体育学習の成果を発表するといった意味合いですと秋開催に軍配が上がります。暑い夏を終えて体格が大きくなり、十分体も鍛えた後ですから見栄えのする力が入った演技や競技が見られます。秋開催の運動会ならではのダイナミックな運動会になるので、秋がいいね！という根強いファンも結構多いようです。一方、運動会は単に運動をすることだけがねらいではありません。全校一斉に取り組む行事（イベント）を通して、年度初めのクラス作りの時期に学級の団結力を高めたり、協力することの楽しさを味わわせたり、心に残る思い出を作り上げていく良さが、春の運動会にはあります。こうしてみると、子どもたちにとって一生心に残る思い出ができるのなら、春でも秋でもどちらでも良いということになりそうです。

運動会は、学校行事の中で全学年が同時に参加し、保護者や地域の方からも応援していただけるただ一つの行事です。昔は、地区別の対抗リレーなるものもありました。私も一度だけ地元「大塚」の代表で出場したことがありました。結果は散々でしたが、ほろ苦くもいい思い出になっています。運動会にはもう一つ、地域と一体になれる良さもあるのだと思います。

春開催の運動会まで3週間少々、しっかり練習をして子どもたちの輝く姿をご覧いただければと思っています。練習中、ご近所にお住まいの皆様には、学校のスピーカーから流れてくる指導に熱の入る教員の声やダンスの音楽など、たいへんご迷惑をおかけいたします。運動会当日にはどうぞ、ご近所お誘い合わせの上お越しく下さい。